

談話における“V了O”と“V(O)了”の使用分布の考察
——談話分析の観点から——

胡 良娜

A study of the usage distribution of "V le O" and "V (O) le" in
discourse from the perspective of discourse analysis

Hu Liang Na

Abstract

When Japanese learners of Chinese speak in Chinese, “V le O” and “V (O) le” are often confused. This paper uses conversation data from native speakers of Chinese, to reveal the usage distribution of “V le O” and “V (O) le” in conversation based on the theories of cognitive linguistics and discourse analysis.

In narrative text, misuse of “le” may break the connection of sentences, but in conversation, “le” is often used repeatedly. This paper considers that there is a difference between the usage distributions of “V le O” and “V (O) le” in narrative text and conversation.

In narrative text, “V (O) le ” is used as a part of broad introduction at the beginning of the discourse. On the other hand, “V le O” is used in detailed discussions after the discourse has progressed.

In conversation, “V (O) le” is often used repeatedly because it is required to make multiple pieces of new information stand out from multiple focal points through “le”'s foregrounding function.



目次

0. はじめに

0.1 本稿の目的

0.2 本稿の構成

1. 先行研究

1.1 談話におけるアスペクト助詞“了”と語気助詞

“了”の用法

1.2 問題提起

2. 研究方法

3. 考察

3.1 談話における“V了O”と“V(O)了”の使用分布

3.2 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と
“V(O)了”の使用分布の共通点

3.2.1 会話と叙述コンテキストにおける

“V(O)了”の使用分布の共通点

3.2.2 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”

の使用分布の共通点

3.3 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と

“V(O)了”の使用分布相違点

3.3.1 “V了O”の割合と連用

3.3.2 “V(O)了”の割合と連用

4. 終わりに

4.1 結論

4.2 今後の課題

参考文献

0. はじめに

0.1 本稿の目的

日本人中国語学習者が中国語で会話する際、“V了O”と“V(O)了”¹を混同する機会が多い (a. *你上周末干了什么? 「先週末何をした?」 b. *我去了图书馆。「図書館に行った。」学習者の作例)。本稿は中国語母語話者の会話データを利用し、談話分析の視点から、談話における“V了O”と“V(O)了”の使用分布を明らかにする。なお、本稿の例文番号、日本語訳、下線は特に断りのない限り筆者によるものである。

0.2 本稿の構成

1. 先行研究では、談話におけるアスペクト助詞“了”と語気助詞“了”についての先行研究をまとめた上で問題を提起する。2. 研究方法では、“V了O”と“V(O)了”の使用分布が、談話の種類によって異なるかどうかを考察するため、会話と叙述コンテキスト双方のデータを利用し、手作業で“V了O”と“V(O)了”を含む談話を収集する。3. 考察では、3.1 談話に於ける“V了O”と“V(O)了”の使用分布、3.2 会話と叙述コンテキストに於ける“V了O”と“V(O)了”の使用分

布の共通点、3.3 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と“V(O)了”の使用分布の相違点を考察する。最後に4. 終わりにでは結論と今後の課題をまとめる。

1. 先行研究

1.1 談話におけるアスペクト助詞“了”と語気助詞“了”の用法

談話におけるアスペクト助詞“了”と語気助詞“了”の用法については、先行研究に於いての様々な議論がある。

郭 (2002) は語気助詞“了”は話し手が実現済み動作の状況を概括的に話したい場合にのみ用いられる一方、アスペクト助詞“了”はこの状況を詳細に説明する場合に用いられる傾向があると指摘している。

讚井 (1996) によると、語気助詞“了”は談話の冒頭において状況全体の伝達に用いられ、アスペクト助詞“了”は事態の経緯、理由、結果などの伝達に用いられるという。

Chang (1986)² は語気助詞“了”は談話単位の終わりを表すとし、一般的に、同一話題に於ける複数の情報の関係が緊密であればあるほど、談話の間に語気助詞“了”を使う可能性が少ないと述べている。

趙 (1997) も語気助詞“了”は談話単位の終わりを表すとし、対象となる談話単位は話題連鎖 (topic chain)、段落或いは更に長い単位であると言及している。

徐 (2014) は、叙述コンテクストに於ける語気助詞“了”の機能について、談話の終わりではなく、物語の重要な進展の新しい段階を示すと述べ、その理由を“了”が談話単位の始まり、談話単位の間、終わりのいずれにも現れることができるからであると説明している。

三宅 (2010) は、“了”を加えることによって動作の完了を明示し事態を有界化するという操作は、もともと知覚的な際立ちのなかったものに対して際立ちを付与すること、即ち言い換えれば、その動作行為を談話全体の中で図として際立たせることになり、結果として文脈や談話全体の中で事態を前景化 (foregrounding) させることに繋がるのであると述べている。更に“了”の前景化の機能により、談話では“V(O)了”は大枠の紹介として談話の出だして用いられる一方、“V了O”は談話が進展した後の詳細な各論で用いられると言及している。

刘 (2001) では、話し手が連続的な動作を述べる際、統語上の主語、話題が変わらない限り、談話の間に語気助詞“了”を使うことができないと主張されている。例えば、

- (1) a. *昨天我早上起床以后吃早饭了, 然后去图书馆了。走进图书馆就去找书了。找到要借的书, 就去到柜台借了。我问柜台的小姐书可以借几天, 她说可以借一个星期。办完手续以后我就回宿舍了。
- b. 昨天我早上起床以后先吃早饭, 然后去图书馆借书。走进图书馆我先找书。找到要借的书以后, 来到柜台。我问柜台的小姐书可以借几天, 她说可以借一个星期。办完手续以后我就回宿舍了。
- (昨日私は朝起きたあと朝ごはんを食べた。そのあと図書館に行った。図書館に入り、本を探した。本を見つけたあとカウンターに借

りに行った。カウンターの係のお姉さんについてまで借りられるかを聞くと、1週間借りることができると言われた。手続きをした後、寮に帰った。)

刘 (2001:385 下線、日本語訳は執筆者による)

例 (1)a のように、語気助詞“了”を濫用すると、談話の展開上、文のつながりが分断されてしまう現象があるので、例 (1)b のようなまとまりのある談話にしなければならないと先行研究にて指摘されている。しかし、実際の会話では、一つの話題“我们”についての連続的な動作の叙述であっても、語気助詞“了”を連続して使うこともある。

- (2) 今天是六月三号, cs 团队风中狂沙解散了, 高强, 我们不再玩游戏了。高强, 我们毕业了, 我们要工作了。
- (今日は六月三日、cs チーム“风中狂沙”³は解散した。高強、私たちはもうゲームをやらないよ。高強、私たちもう卒業した、私たちは仕事しなければならない。)

例 (2) は葬儀で友人に別れを告げている場面である。順番に行われる動作であるが、敢えて順番を際立たせず、複数の新情報を重要な情報として伝えるために、“V(O)了”を連続して使っている。さらに、例 (3) のように複数の関連する話題を述べる際、“V(O)了”を連続して使うこともある。

- (3) a. 那你有没有深入地了解一下吴文辉呢?
(じゃああなたは呉のことをもっと詳しく調べた?)
- b. 我们俩在一块儿那么多年了, 我上研究生的时候就认识他了, 我不了解他, 难不成, 你们比我更了解他。
(私たちは長年付き合っているのよ、院生の時にはもう彼と知り合っていた。私が知らないなんて、もしかして、あなた達は私より彼

のことを知っているの。)

例 (3) では、彼氏呉のことを知らないと言われたので、話し手が反論するために、“我们”、“我”という二つの話題からなる“V(O)了”を二回使い、「長年彼と付き合っている」という主題を伝え、「誰よりも彼のことを知っている」ことをアピールしている。

1.2 まとめと問題提起

上述した先行研究で言及している談話単位、“V了O”と“V(O)了”の談話機能のまとめと問題点を、1) と 2) に分け以下に述べる。

1) まとめ

屈 (1998)、Chang (1986)、赵 (1997) などにより、談話単位は話題連鎖、段落或いは段落より更に長い単位であることが分かった。これに基づき、本稿では談話単位を、ある談話主題を用いる一つの段落、或いは複数の段落であると定義している。

叙述コンテキストに於ける談話単位には、例 (1)b のような一つの話題からなるものや、複数の話題からなるものが存在する。一方、会話における談話単位は、複数の相手に行われる連続的な発話内容である。その発話内容には例 (2) のような一つの話題からなるものや、例 (3) のような複数の関連する話題、話の途中で他の関連しない話題へ推移するものもある。

なお、本稿では主題と話題について、屈 (1998) の話題は文頭に置かれ、節と節の間に連続作用を用いる構造単位である一方、主題は段落或いは章節の主題、いわゆる談話主題であるという考えに基づき、談話主題と話題を分類している。

2) 問題提起

上述のとおり、“V了O”と“V(O)了”は、叙述コンテキストと会話、双方の談話で多く使われる。しかし、叙述コンテキストと会話という二種類の談話に於ける“V了O”、“V(O)了”の使用分布や談話機能について

は、以下のように不明確な点も多い。

先行研究では、談話における語気助詞“了”の分布について、談話の冒頭、談話の終わり、更に談話の中間にあると言うように、様々な説がある。“V了O”と“V(O)了”の使用分布は、談話の種類（叙述コンテキストと会話）によって異なるのか、まだはっきり説明されていない。

先行研究では、“V(O)了”は大枠の紹介として談話の出だしで用いられる一方、“V了O”は談話が進展した後の詳細な各論で用いられると述べているが、実際の会話では語気助詞“了”を連続して使うことも多い。

例えば、例 (1) のような叙述コンテキストでは、語気助詞“了”を濫用すると文のつながりが分断されてしまうが、会話では、語気助詞“了”を連続して使うことも少なくないようである。従って、叙述コンテキストと会話における“V了O”と“V(O)了”の使用傾向が異なるのではないかと考える。本稿ではこのような予測に基づき、叙述コンテキストと実際の会話において、“V了O”と“V(O)了”が具体的にどのように使われているかを考察する。

2. 研究方法

談話の種類によって、“V了O”と“V(O)了”の使用分布が異なるかどうかを考察するため、会話と叙述コンテキスト双方のデータを収集する。

まず、恋愛、婚姻、家庭などの話題を含む日常生活をテーマとした代表的な人気ドラマ⁴《奋斗》、《裸婚》、《咱们结婚吧》、《离婚律师》、《欢乐颂》第一話の合計約 225 分の会話を利用し、手作業で“V了O”と“V(O)了”を含む 86 個の談話単位から、それぞれ 58 例、437 例を収集した。次に、それらの会話を叙述コンテキストと比べる為、鲁迅の《呐喊》⁵を利用し、“V了O”と“V(O)了”を含む 90 個の談話単位からそれぞれ 133 例、82 例を収集した。

そして、集めたデータを以下の順に考察する。まず、実際の会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と“V(O)了”の割合を見て、両者の談話における使用

分布を比較する。次に、会話と叙述コンテキストに於ける“V了O”と“V(O)了”の使用分布の共通点を考察する。更に、“V了O”と“V(O)了”の使用分布の相違点を考察する。最後に、それぞれの談話形式における“V了O”と“V(O)了”の使用分布を比較する上で認知言語学や談話分析の視点から、“V了O”と“V(O)了”の特徴をまとめる。

3. 考察

3.1 談話における“V了O”と“V(O)了”の使用分布

本稿では会話と叙述コンテキストからそれぞれ86個と90個の談話単位を収集した。まず、会話で収集

した86個の談話単位、495例には“V了O”と“V(O)了”がそれぞれ58例(12%)、437例(88%)ある。叙述コンテキストで収集した90個の談話単位、215例には、“V了O”と“V(O)了”がそれぞれ133例(62%)、82例(38%)ある。二つの談話形式における“V了O”と“V(O)了”の例文の割合と使用分布をそれぞれ図1と表1で表す。

図1で明らかのように、叙述コンテキストでは、“V了O”と“V(O)了”の合計が215例ある一方、会話では495例である。更に、会話では、“V(O)了”がより多く使われる(88%)一方、叙述コンテキストでは、“V了O”が多く使われている(62%)。従って、会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と“V(O)了”の使用分布が異なることが分かる。

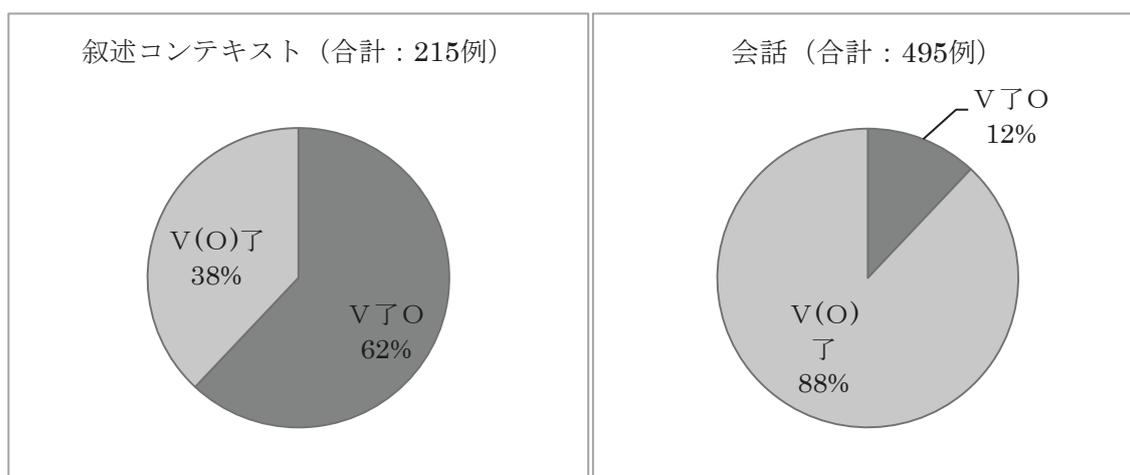


図1: 談話における“V了O”と“V(O)了”の例文の割合

表1: 談話における“V了O”と“V(O)了”の分布

談話		談話の始まり	談話の間	談話の終わり	合計	連用する談話単位
叙述コンテキスト	V了O	2 (1%)	127 (59%)	4 (2%)	133 (62%)	27% (24/90)
	V(O)了	13 (6%)	52 (24%)	17 (8%)	82 (38%)	3% (3/90)
合計					215 (100%)	
会話	V了O	1	56 (11%)	1	58 (12%)	5% (4/86)
	V(O)了	31 (6%)	381 (77%)	25 (5%)	437 (88%)	70% (60/86)
合計					495 (100%)	

また、表1で分かるように、会話の場合も叙述コンテキストの場合も“V了O”と“V(O)了”は共に談話の間に多く使われている。しかも、“V了O”のほとんどが談話の間に使われる一方、“V(O)了”は談話の始まり、中間、終わりのいずれにも現れる傾向が共通している。

会話では、“V了O”を連続して使う談話単位が少なく(4個、4/86)、“V(O)了”を連続して使う談話単位が多い(60個、60/86)。しかし、叙述コンテキストでは、“V了O”を連続して使う談話単位は24個あり、27%(24/90)を占める一方、“V(O)了”を連続して使う談話単位は3個あり、全部の談話単位の3%(3/90)を占めている。このような違いが“了”の前景化機能と談話機能とどのような関係があるかについて、3.3で分析する。

3.2 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”と“V(O)了”の使用分布の共通点

3.2.1 会話と叙述コンテキストにおける“V(O)了”の使用分布の共通点

三宅(2010)によると、“V(O)了”の前景化機能によって、語気助詞“了”で終わる文とその次の文との間で区切りが生じることになる。“买书”全体は一つのまとまりとして捉えられる。従い、談話に於いて“V(O)了”は大枠の紹介として使われるという。図2で示す。

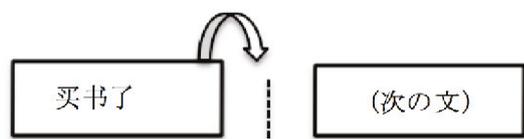


図2: “V(O)了”の前景化機能

(三宅 2010: 60、一部改変)

以上の結果から、会話の場合も叙述コンテキストの場合も“V(O)了”は談話の始まり、中間、終わりのいずれにも現れることができ、特に談話の間に多く使われていることが分かった。この結果は先行研究の「語

気助詞“了”は談話単位の終わりを表す(Chang 1986)」と異なり、「語気助詞“了”は談話の終わりではなく、物語の重要な進展の新しい段階を示す(徐 2014)」と一致している。それらを使われている場所に基づき1)と2)に分け、具体的に考察する。

1) 談話の始まり、または終わりに使われる“V(O)了”

“V(O)了”は、話題の切り出し或いはまとめとして、談話の始まり、または終わりに使われる(先行研究で言及されている)。会話では、談話の始まり、または終わりに使われる“V(O)了”は56例、11%(56/495)を占めている一方、叙述コンテキストでは、談話の始まり、または終わりに使われる“V(O)了”は30例、14%(30/215)を占めている。会話(4)、(5)と叙述コンテキスト(6)を参照されたい。

- (4) a. 艳艳, 你出什么事了? 我马上过去。
(艳艳, なんかあったの? すぐ行くよ。)
- b. 出大事了, 姐我真的跟他什么都没干, 他就是来帮我修电脑的……。
(大変なことになったよ, お姉さん, 私は本当に彼と何もしなかったのよ, パソコンを修理しに来てくれただけなのに…)

例(4)では、aは話題の切り出しとして“出什么事了”「なんかあったの」を使って質問した。bは“出大事了”「大変なことになったよ」と新しい話題の切り出しとして“出大事了”を使った後、具体的に何が起きたかを説明している。

- (5) a. 这是我的毕业证。
(これは私の卒業証書だよ。)
- b. 哎呦喂。
(うおおおおおおーー)
- a. 我以后就靠这个混饭吃了。
(これからこれを使ってどうにか口過ぎするわ。)
- b. 真好, 赶紧收起来别弄丢了。

(いいね、早くしまっ、無くさないでね。)

c. 別收別收，哎，明天啊，多复印几份，然后镶在镜框里，咱们把它挂在这儿，……向南成才啦⁶，妈把你拉扯这么大，总算有个结果了。

(しまわないで、しまわないで、あのね、明日何枚かコピーして、それを額に入れて、ここに掛ける。…向南は立派な人になったわ、お母さんは苦労して育て、やっといい結果が出たわ。)

例(5)では、息子(向南)は卒業証書を親に見せ、卒業証書について家族みんなで話していた。会話の最後に、母親は“有个结果了”を使い、談話の終わりとして結論を述べている。

(6) 不一会，他喝完酒，便又在旁人的说笑中，坐着用这手慢慢走去了。

(暫くして彼はお酒を飲み終わり、他人の笑い声の中で、座りながら両手で(体を動かして)ゆっくり去って行った。)

叙述コンテキストの例(6)では、談話の終わりとして最後に、“慢慢走去了”「ゆっくり去って行った」を使っている。

2) 談話の間に使われる“V(O)了”

表1で示すように、“V(O)了”は会話(381、77%)に於いても叙述コンテキスト(52、24%)に於いても、共に談話の間に多く使われている。この結果は、徐(2014)が言及している語気助詞“了”は談話の終わりではなく、物語の重要な進展の新しい段階を示すという見方と一致している。会話(7)、叙述コンテキスト(8)を参照されたい。

(7) 我是曲筱筱。今天我新搬过来，以后我们就是邻居了。多多关照哦。

(私は曲筱筱と言います。今日新しく引っ越してきたから、これから私達は近所になった。よ

ろしくね。)

会話の例(7)では、“是邻居了”「近所になった」という変化が、同じフロアに住んでいる女同士の間における重要な進展の一つとして談話の間に使われている。

(8) 他站住了，动着嘴唇，却没有作声，他的态度终于恭敬起来了，分明叫道“老爷！……”

(彼は立ち止まり、口は動いているのに声を出せず、暫くして私を恭敬するようになった、結局「ご主人様！…」と言った。)

叙述コンテキスト《故郷》では、召し使いの子供「彼」と坊や「私」とは幼馴染であった。しかし二十年ぶりの再会時、彼の態度は昔と大きく異なり、「私」を「ご主人様」と呼び、「私」を恭敬するようになった。このような変化は物語における重要な進展であり、“V(O)了”を談話の間に使うことで、物語の新しい展開が示されている。

3.2.2 会話と叙述コンテキストにおける“V了O”の使用分布の共通点

三宅(2010)によると、“V了O”の中の“了”の前景化機能によって、例えば“买了三本书”に於いては、“了”で“买”と“三本书”の間に認知上の区切りを生じるので、“三本书”が一つのまとまりとして認識されるのでその中では“三本”にも認知的焦点が当たりやすくなる。従って、“V了O”は談話が進展した後の各論で用いられるという。それらを図3で示す。

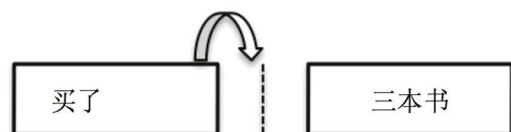


図3：“V了O”の前景化機能

(三宅 2010:60 一部改変)

表1で示すように、会話に於いても叙述コンテキス

トに於いても、特定の文脈の場合に限り“V了O”は談話の始まりと終わりでも使われるが、ほとんどの場合“V了O”は談話の間に使われている。会話では58例の“V了O”の内、56例が談話の間に使われている。叙述コンテキストでは133例の“V了O”の内、127例が談話の間に使われている。“V了O”は談話が進展した後の各論で用いられるという先行研究の指摘とは一致している。以下では用いられている場所に基づいて、それらを1)と2)に分け、具体的に考察する。

1) 談話の始まりや終わりにおける“V了O”

談話の始まり、または終わりに使われる“V了O”は少ない。会話には、2例あり、0.4% (2/495) を占める一方、叙述コンテキストでは6例あり、3% (6/215) を占めている。これらの事実から、“V了O”は特別な文脈の場合に限り、談話の始まりや終わりに使われることが分かった。例えば、“V了O”は以下のような存現文、特定の文脈などに使われる。

叙述コンテキストでは、例(9)のように、談話の始まりに存現文が使われることがある。

(9) 忽然来了一个人，年纪不过二十左右，相貌是不很看得清楚……

(突然(一人の)人が現れた、年齢は二十歳ぐらい、顔ははっきり見えない……)

会話では、例(10)のように、会話の始まり、尚且つ動作を順番に表現する場合に、“V了O”が使われることがある。

(10) a. 桃子大姨买了排骨，晚上准备怎么吃?

(桃子、おばさんは排骨を買ったよ、夜はどう食べたい?)

b. 我不想吃排骨，我不饿。

(排骨を食べたくない、お腹が空いてないから。)

例(10)のような会話の出だし、尚且つ順番に行わ

れる動作という特定の文脈では、“买了排骨”という“V了O”の表現が使われている。(10)では「排骨を買った」で終わると不自然になり、後続文に「食べる」という動作があることで文が安定するので、その結果出だしに“V了O”が使われることになる。

叙述コンテキストでは、例(11)のような特定の文脈の場合、“别了二十年”という“V了O”が故郷の修飾語として談話の最後に使われている。

(11) 我冒着严寒，回到相隔二千余里，别了二十余年的故乡去。

(私は厳しい寒さを冒して、千キロ余りも隔った、別れて二十何年になる故郷に帰った。)

2) 談話の間に於ける“V了O”

会話に於いても叙述コンテキストに於いても、ほとんどの場合“V了O”は談話の間に使われている。なぜならば、“V了O”は前景化機能により、具体的な動作を際立たせ、談話が進展した後の各論で用いられるからである。具体的には以下のように使われている。

話し手が発話時点より先の未然の動作を述べる際、動作の順序を際立たせる為に“V了O”使われる(…してから/…したら)。例えば、

(12) 我现在只买得起这儿我就住这儿，等以后多赚了钱，我再换别的房子。

(今はここしか買えないんだからここに住む、将来お金を沢山稼いでから、また別の家に買い換える。)

例(12)では、予算の関係で「お金を稼ぐ」(“赚了钱”)という動作を先にやってから、次に「別の家を買う」という順序を際立たせている。

(13) 莹莹你也别太难过了啊。等你通过了注会考试，就会不一样了。到时候月薪起码翻倍。

(莹ちゃん、そんなに落ち込まないで。公認会計士の試験に合格したら、(経済状況)変わるよ。)

その時給料は少なくとも2倍になるよ。)

例(13)では、給料が少ないことで困っている友達の瑛ちゃんに対し、話し手は公認会計士試験に合格したら、状況が変わるといふ動作の順序を際立たせ、彼女を慰めている。

話し手は実現済みの出来事の詳細を説明する場合、“V了O”を使うことがある。出来事の詳細を説明する為に、しばしば、修飾語あるいは数量詞が使われる。

先行研究によると、“V了O”の前景化機能によって、“了”で“V”と“O”の間に認知上の区切りが生じるので、“O”が一つのまとまりとして認識され、“O”に於ける修飾語や数量詞などにも認知的焦点が当たりやすくなるという。例えば、

(14) 我大学一毕业我就嫁给他了。那个时候，我放弃了我的梦想，放弃了我的舞台，放弃了出国留学的机会。……我把我最好的年华我给了他，现在他跟我说要离婚，他不要我了，不可能，罗鹏姐，我不能接受。

(私は大学を卒業した後すぐ彼と結婚した。その時、私は自分の夢を諦め、自分の舞台も諦め、海外留学のチャンスまでも諦めた。…一番いい年の自分を彼に捧げたのに、彼は今離婚を言い出して、もう私を要らないなんて、あり得ない。羅鵬姉さん、私は受け入れられないわ。)

例(14)では、話し手は自分のすべてを夫に捧げたのに、離婚と言われた。話し手が四つの“V了O”を連続して使うことにより、“放弃”と“我的梦想”、“我的舞台”、“出国留学的机会”のすべてに認知的焦点が当たる。その結果、具体的に何を犠牲にしたかについて、羅鵬姉さんに詳しく説明できるわけである。更に、“放弃了我的梦想、我的舞台、出国留学的机会”のように単なる動作の対象を並べるだけより、“放弃”を3回連続して使った方が、より動作“放弃”を際立たせることができる。

(15) a. 你们怎么认识的，说。

(君たちはどう知り合ったの、説明して。)

b. 他先追米莱，米莱看上了你，然后他就追我……。

(彼は最初米莱を追いかけたけど、米莱は君のことが好きになった、それで彼は私を追いかけたわけ。)

例(15)では、bがaに彼とどう知り合ったかについて説明する際、“V了O”を用いて、きっかけである“看上了你”を際立たせて詳しく説明している。更に例(16)では、修飾語あるいは数量詞がある目的語(“去了美国两个星期”、“赢了那么多的官司”)が使われている。

(16) 我去了美国两个星期，你替律所赢了那么多的官司，你想要什么奖励？

(二週間アメリカに行っている間、君は弁護士として法律事務所のために多くの裁判に勝った。ご褒美に何が欲しい?)

上述のように、“V了O”は会話に於いて、未然の動作の順序を際立たせる場合、或いは実現済みの出来事の詳細を説明する場合に使われている。これは「“V了O”は談話が進展した後の詳細な各論で用いられる」と一致している。

3.3 会話と叙述コンテキストに於ける “V了O”と“V(O)了”の使用分布相違点

3.1で考察したように、会話と叙述コンテキストでは“V了O”と“V(O)了”の使用分布が異なる。具体的には、90個の談話単位から収集した叙述コンテキスト(495例)より、86個の談話単位から収集した会話(215例)に於いて、“V了O”と“V(O)了”が多く使われている。更に会話では、“V(O)了”がより多く使われる(88%)一方、叙述コンテキストでは、“V了O”が多く使われている(62%)。

次に、“V了O”の連用に着目すると、叙述コンテキストでは“V了O”を連続して使う談話単位が24個、27% (24/90) を占め、“V(O)了を連続して使う談話単位は3個あり、談話単位全体の3% (3/90) を占めている。一方、会話では、“V了O”を連続して使う談話単位が少なく (5%、4/86)、“V(O)了を連続して使う談話単位が多い (70%、60/86)。これを図4で示す。

3.3.1 “V了O”の割合と連用

考察の結果、“V了O”は会話 (12%) より、叙述コンテキストで多く使われている (62%) ことが分かる。更に“V了O”を連続して使う談話単位も叙述コンテキストに多く (27%)、会話に於ける連用 (5%) を上回る。“V了O”を連続して使う談話のイメージを図5で示す。

図5で示すように、矢印で示す時間軸上で、“V了O”の前景化機能により一つ一つの動作が○のように焦点化され、人の動作を順番に詳しく描くことができる。このため、叙述コンテキストにて人の動作や物語の展開を詳しく描く際、“V了O”の連用が多く見られる (27%、例えば例 (17) (18))。一方、会話では、一つ一つの動作を際立たせ人の動作を表現する場面が叙述コンテキストより少ない為、“V了O”を連続して使う場面は少ない (5%)。

- (17) 老头子坐着, 闭了眼睛, 摸了好一会, 呆了好一会。
(おやじは座りながら目を閉じ、しばらく手で触って (手で診察する)、しばらくぼーっとしていた (考えていた))。

年寄りの漢方医が病人を診察する過程を詳しく描写

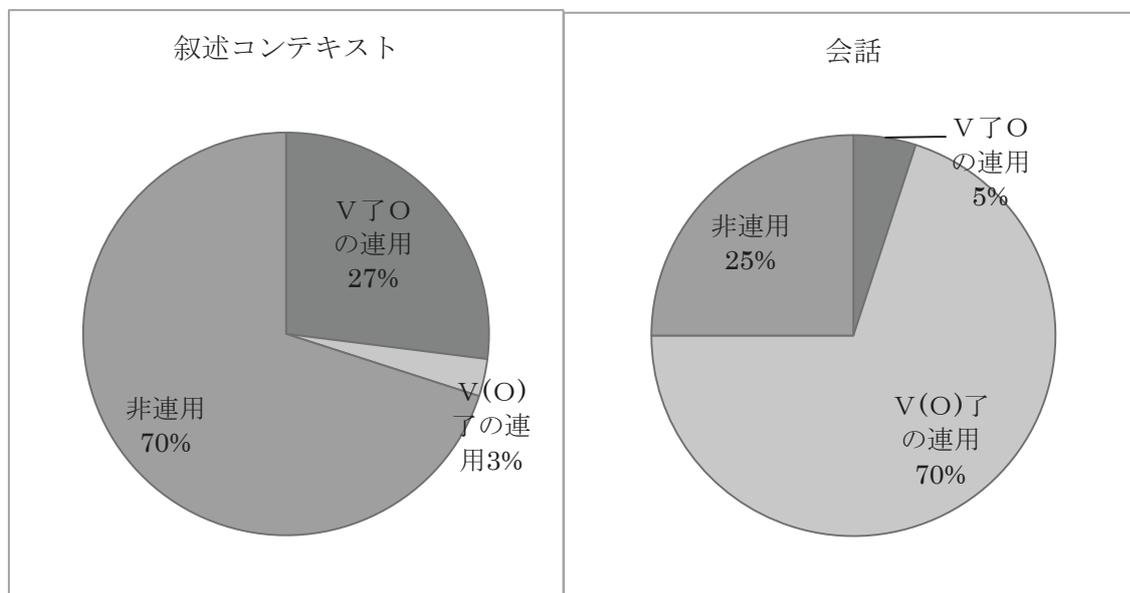


図4：叙述コンテキストと会話における“V了O”と“V(O)了”の連用

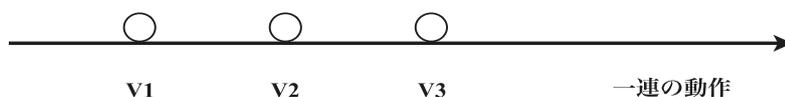


図5：“V了O”を連続して使う談話

する為に、三つの“V了O”を連続して使い、一つ一つの動作“閉”、“摸”、“呆”を際立たせている。

- (18) 王大妈端详了一番，把头点了两点，摇了两摇。
 (王叔母さんはじっくり見た後、二回頷いてから頭を二回横に振った。)

例(18)は、三つの“V了O”を連続して使い、王叔母さんが病気になった主人公の息子を観察した時の動作を詳しく描くことにより、その後息子が死ぬことを暗示している。

3.3.2 “V(O)了”の割合と連用

考察の結果、“V(O)了”は叙述コンテキスト(38%)より、会話で多く使われている(88%)ことが分かる。更に“V(O)了”を連続して使う談話単位も会話に多く(70%、60/86)、叙述コンテキストに於ける連用(3%、3/90)を大きく上回る。

叙述コンテキストに於いて“V(O)了”の連用が少ないという考察結果は、語気助詞“了”を濫用すると、談話の展開上、文のつながりが分断されてしまうという先行研究の指摘とは一致しているが、会話では“V(O)了”の連用が多く見られ、先行研究の指摘と一致しないことが分かった。“V(O)了”を連続して使う談話イメージを図6で示す。

図6で示すように、矢印で示す時間軸上で、“V(O)了”の前景化機能により、談話が点線のように分断され、文と文との間に区切りが生じるため、複数の出来事がそれぞれの焦点として捉えられる。叙述コンテキストでは、“V(O)了”を濫用すると、談話が

展開する上で文のつながりが分断されてしまうので、“V(O)了”は主に重要な出来事、或いは物語の重要な展開が述べられる時のみ使われる。これはすでに先行研究が言及している。

但し本稿の調査で、叙述コンテキストに於いて、例外的に“V(O)了”を連続して使う談話単位を三つ確認した。例えば、

- (19) 单四嫂子早睡着了，老拱们也走了，咸亨也关上门了。
 (单四姉さんはとっくに寝付いた、拱さん達も去った、咸亨(居酒屋)もドアを閉めた。)

「单四姉さんは寝付いた」、「拱さん達も去った」、「咸亨もドアを閉めた」という三つの“V(O)了”は、時間軸上で同時に発生した出来事の変化であり、このような並列関係の談話に於いては、“V(O)了”の連用が見られる。これは先行研究が言及している「複数の情報の関係が緊密であればあるほど、談話の間に語気助詞“了”を使う可能性が少ない」という指摘と関係がある可能性がある。つまり、このように“V(O)了”の連用が生じる理由は、関係が緊密でない複数の出来事の変化が、並列的に発生することにあると考えられる。

一方、会話に於いて、“V(O)了”を連続して使う談話単位は多く見られる(70%、60/86)。これは“V(O)了”を濫用すると、談話の展開上、文のつながりが分断されてしまうという先行研究の指摘と一見矛盾するが、なぜこのような現象が生じるかという点、それは会話に於いて、短時間に効率的に情報を交換或いは提供する為、複数の“V(O)了”が表す新情報を複数の焦点として際立たせる必要があるからである。

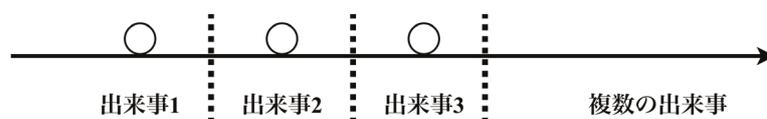


図6：“V(O)了”を連続して使う談話

実際の会話に於ける“V(O)了”の談話機能、つまり話し手が“V(O)了”という形式を用いる際の聞き手に対する働きの種類は、表2のようにまとめることができる。

表2に示すように、会話では、話し手は聞き手に対して、単なる新情報の提供・交換の場合でも、確認、質疑、反論、説明するための新情報の提供・交換の場合でも、“V(O)了”を連続して使うことが多いとわかった。これらを以下の通りに分析する。

1) 一つの話題或いは複数の関連する話題、一人の話し手の場合（会話数:14）

一人の話し手が“V(O)了”を連続して使う会話は14例あった。その中には、統語上の主語が変わらず、話題も変わらない会話もあり(2)、ある談話主題を巡り、関連する複数の小さな話題について述べる会話もある(21)。

(2) 今天是六月三号, cs 团队风中狂沙解散了, 高强, 我们不再玩游戏了。高强, 我们毕业了, 我们要工作了。(例文再掲)
(今日は六月三日、cs チーム“风中狂沙”は解散した。高強、私たちはもうゲームをやらないよ。高強、私たちもう卒業した、私たちは仕事しなければならぬ。)

例(2)は葬儀で友人に別れを告げている場面であ

る。順番に行われる動作であるが、敢えて順番を際立たせず、複数の新情報を重要な情報として伝えるために、“V(O)了”を連続して使っている。

(20) 为了支持你, 我工作辞了, 回家带孩子, 照顾老人。现在好了, 踏实了, 你有钱了, 你是个人物了, 我老了, 孩子大了。
(あなたを支えるため、仕事も辞めて、家で子育てして、親を世話してきた。今は昔より家の状況がよくなって、落ち着いて、君はお金持ちになり、大した人物になった、私は歳をとった、子供は大人になった。)

例(20)では、「離婚」という談話主題をめぐる、幾つかの話題“我”、“你”、“孩子”を用いている。妻の私は家庭のために仕事も辞めた(“工作辞了”)のに、今は家の状況がよくなり、落ち着いたところ、夫のあなたはお金持ちになり(“你有钱了”)、大した人物になった(“你是个人物了”)一方、私は歳をとり(“我老了”)、子供は大人になった(“孩子大了”)。このように、話題“我”、“你”、“孩子”からなる“V(O)了”を連続して使い、夫に「離婚したくない」ということを訴えている。

2) 複数の関する話題、複数の話し手の場合（会話数:29）

複数の話し手がある談話主題を巡り、複数の関連す

表2：会話の中で連続して使われる“V(O)了”の談話機能(60/86)

話 題	会話の人数	談話機能（聞き手に対する働き）	談話単位
一つの話題或いは複数の関連する話題	一人の話し手	複数の関連する新情報を複数の焦点として相手に提供	14
	複数の話し手	確認、質疑、反論、説明するための新情報の提供や交換	29
複数の関連しない話題	一人の話し手	関連しない複数の新情報の提供	0 ⁷
	複数の話し手	関連しない複数の新情報の交換	17
合 計			60

る話題述べている会話は30例あった。

例えば、

- (21) a. 说不定人家就在外面跟朋友一块玩儿，一会儿就回来了呢。

(まあまあ落ち着いて、二人ともそんなに焦らないで、ひょっとしたら彼は今外で友達と一緒に遊んでいるところ、しばらくしたら帰るかもしれないのよ。)

- b. 不会的，他不会回来了，他肯定不会回来了，他肯定生我气了。(反論)

(そんなはずがないよ、彼はもう帰ってくるはずがない、彼はきっともう帰ってこないよ。彼はきっと私に腹を立てたんだ。)

例(21)では、彼は帰ってくるかどうかという談話主題をめぐり、話し手は、「彼はしばらくしたら帰るかもしれない」と言われたので、「V(O)了」(“不会回来了”、“肯定不会回来了”)を二回使って直接反論し、なぜ帰ってこないかを説明するために再度“V(O)了”(“肯定生我气了”)を使い、彼はもう帰ってこないことを強調している。

- (22) a. 你的意思是说,我刘易阳要当爸爸了? (確認)

(お父さんになるという意味なの?)

- b. 万一做完这手术,我不能生育了。

(万が一中絶手術をしたら、妊娠できなくなる。)

- a. 不是咱么,咱们,说到哪儿了?你怎么,什么时候说到这事儿上了? (質疑)

…不是,你等会儿等会儿,挺高兴一事儿,怎么说到这事儿了。… (質疑)

(違うよ、僕たちはどこまで話をした?どうして、いつ中絶の話をした?)

(違うよ、ちょっと待って、めでたいことなのに、どうしてそんなことを言うの。)

例(22)では、「妊娠した」という談話主題をめぐり、

幾つかの関連話題を述べている。彼は彼女に妊娠したと告げられ、動揺し、“要当爸爸了?”を使って再確認した。彼女はその動揺に不満を持ち、わざと中絶すると言い出した。彼は中絶の決意に驚いたので、“怎么说到这事儿了”を何回も使って問いただしている。

- 3) 複数の関連しない話題、複数の話し手(会話数:17)

明確な談話主題がなく、複数の話し手が複数の関連しない話題を述べる会話は、17例あった。話の途中で、関連しない他の話題の推移などが見られる。例えば、

- (23) a. 这是我男朋友……。

(これは私の彼氏…。)

- b. 你好。

(こんにちは。)

- c. 你好。

(こんにちは。)

- a. 有男朋友了吗?

(彼氏はいる?)

- c. 嗯。(うん)

- a. 衣服做好了没?

(服はできた?)

- c. 做好了。

(できたよ。)

- a. 那我一会儿回宿舍看看,你明天也来看看他爸…

(じゃ後で寮に帰ってちょっと見てみる、明日君も彼のお父さんに会いに来て。)

- b. 就这么定了。

(決まりだ。)

- a. 你男朋友来了。

(あなたの彼氏が来たよ。)

- c. 那我先走了,拜拜。

(じゃ先に帰るね、バイバイ。)

- a. 拜拜。甬看了,人家马上去美国了。男朋友是一公司白领,以前追过我。我甩他男朋友也不去美国了,专门盯着你。

(バイバイ、もう見なくていいよ、彼女はもうすぐアメリカに行くよ。彼氏は会社員で、

前私に告白したけど、私に断られたの。そして（浮気させないように）あなたを監視するため、私もアメリカに行かないことにしたのよ。）

例 (23) では、話し手 a は“男朋友”、“衣服”のような関係ない話題について話した。会話の途中で a は友達 c の彼氏が来たことに気づき、“男朋友来了”を c に伝え、“要去美国了”などの新情報を自分の彼氏 b に伝えた。このように話し手は会話の途中で起きた変化に気づき、関連しない他の話題の推移などが見られる。

(24) a. 你有完没完，这都要离婚了，我穿什么样子跟你有一毛钱关系吗？

（いい加減にしなさい、もう離婚するのだから、何を着るかは君と関係ないだろう？）

b. 当然有关系了，你穿成这样来离婚就证明你对咱们这段婚姻你就不重视。

（もちろん関係あるよ、あなたがこんな格好で離婚しに来ることは、私達の婚姻を重視していない証拠だよ。）

a. 都到这了，这话说得还有意思吗？

（ここまで来たんだから、こんな話をするなんて意味があるかい？）

b. 有意思啊，我就是想让所有人知道你偷偷摸摸把咱们家的钱给你们家，你也不跟我商量，你拿我当空气哪！

（あるのよ、あなたが私達のお金をこっそり実家にあげていることを、みんなに知らせるわ、あなたは私に相談もなく、私を空気だと思ってるの？）

a. 我给了，怎么着！……我告诉你，你别把自己当空气，你没那么重要，我他妈是离不开空气，我离不开你？！

（あげたんだよ、だからなんだよ！…教えてやるよ、自分を空気に例えるなよ、君はそんなに重要じゃないんだから。空気から離れたら生きて行けなくなるけど、君から離れられ

ないとでも思ってるの？！)

b. 你是不是要我签字，我还不签了呢，我气死你，我急死你，我不签了，我就是不离了，你怎么着？……。

（あなたは署名が欲しいの、署名もうしないよ、わざとあなたを怒らせるよ、焦らせるよ、もう署名しない、離婚しないよ、どうする？…。）

a. 你结婚了吗？

（君は結婚している？）

c. 我不想结婚。

（結婚したくない。）

例 (24) は離婚手続きをする場所で、夫婦が喧嘩する場面である。夫婦はまず離婚の話（“离婚了”）をしている途中で、実家に送金という話題（“给了”）に変え、最後にいきなり役所の係り c に結婚の話（“结婚了吗”）をし始めた。このように一つの会話の中に複数の話し手と複数の関連しない話題が同時に存在しており、この点は叙述コンテクストと異なっている。

4) 他：同じ“V(O)了”の繰り返し

同じ“V(O)了”を繰り返し、出来事全体を際立たせて述べる会話もあった。

(25) a. 哎，没电了，老板，没电啦！

（あれ、停電だ、マスター、停電だよ！）

b. 对不起，对不起，实在是对不起，你听我给你解释啊，我也不知道怎么回事儿，就突然停电了。（確認）

（ごめんごめん、本当にごめん、君に説明するけど、私もよくわからないんだ、急に停電なんだよ。）

a. 怎么就没电了，怎么就没电了，怎么就停电了。（質疑）

（なんで停電、なんで停電なの、一体なんで停電なんだ。）

例(25)では、「停電した」という談話主題をめぐり、aは話題の切り出しとして「没電了」「停電だよ」を二回繰り返して、新情報としてbに伝えた。bは「就突然停電了」「確かに急に停電した」ことを繰り返してaに説明した。aは「怎么就没电了」、「怎么就没电了」、「怎么就停電了」「なんで停電なの」と三回繰り返してbに質疑している。このように、同じ“V(O)了”を繰り返して、出来事全体を際立たせて述べるということは叙述コンテキストと異なっている。

4. 終わりに

4.1 結論

本稿では、談話に於ける“了”の使用分布と談話機能を明らかにするため、会話と叙述コンテキストそれぞれの例文を集め考察した。その結果を以下にまとめる。

先行研究では統語上の主語、話題が変わらない場合、語気助詞“了”を濫用すると、談話の展開上、文のつながりが分断されてしまうという指摘がなされている。しかし本稿での調査の結果、以下のような先行研究の指摘と異なる結論が得られた。叙述性テキストの場合は先行研究の指摘と一致しているが、会話では、語気助詞“了”を連続して使うことがある。つまり、叙述性テキストと会話における“V了O”と“V(O)了”の使用分布には相違点が存在している。即ち、“V了O”と“V(O)了”の前景化機能と談話機能により、異なる談話形式における使用分布も異なると考えられるのである。

このような違いが生じた理由として、以下のような要因が考えられる。叙述コンテキストでは人物の動作

や物語の展開を詳しく描く為に、“V了O”を連続して使うことが多い。それは“V了O”が具体的な動作を際立たせるという前景化機能を持っている為である。叙述コンテキストに於いて“V(O)了”の連用が少ない原因は、“V(O)了”を濫用すると“V(O)了”の前景化機能により文のつながりが分断されてしまうという点にある。従って“V(O)了”は物語の中で重要な展開にしか使われない。

一方、会話では、一つ一つの動作を際立たせて人物の動作を描く場面が叙述コンテキストより少ない為、“V了O”を連続して使うことが少ない。会話に於ける“V(O)了”の連用が多い原因は、会話に於いては、短時間に効率的に情報を交換或いは提供する為、複数の“V(O)了”が表す出来事を複数の焦点として際立たせる必要があるという点にある。

更に、会話では、話し手は単なる情報を提供や交換することの他に、確認、質疑、反論、説明する為に情報を提供や交換することも多い。

4.2 今後の課題

以上が本稿の主張である。本稿の調査を通じて、以上のような結論を導き出すことができたものの、同時に今後の課題として残された問題もある。

例えば、本稿で考察した“V(O)了”の連用については、一層の調査が必要であろう。具体的には、複数の“V(O)了”が表す出来事が相互にどのように関連しているかという問題や、緊密な関係と緩い関係は、それぞれどのような特徴をもったものであるか等の問題について、今後も研究を進めていきたい。

参考文献

- Chang, Vincent Wuchang (张武昌) (1986). The Particle le in Chinese Narrative Discourse. Gainesville, FL: Unpublished University of Florida Ph.D. dissertation.
- Chu, Cheng-Hsi Chauncey (1998) A Discourse Grammar of Mandarin Chinese, New York and Berne: Peter Lang. (屈承熹著 潘文国等译 (2006) 《汉语篇章语法》北京:北京语言大学出版社.)
- 郭继樊 (2002) 「“了₁”和“了₂”的差异」, 郭继樊、郑天刚主编『似同实异:汉语近义表达方式的认知语用分析』, 中国社会科学出版社.
- 吕叔湘主编 (1999) 『现代汉语八百词 (增订本)』北京:商务印书馆.
- 刘月华 潘文娉 故韡 (2001) 『实用现代汉语语法 (增订本)』北京:商务印书馆.
- 三宅登之 (2010) 「“了₁”と“了₂”の相違点とその認知的解釈」『中国語教育』第8号.
- 讃井唯允 (1996) 「アスペクト助詞“了”と語気助詞“了”」『中国語』5月号.
- 徐晶凝 (2014) 「叙事语句中“了”的语篇功能初探」『汉语学习』第1期.
- 赵立江 (1997) 「留学生“了”的习得过程考察与分析」『语言教学与研究』第2期.

注

- 1 Vは動詞であり、Oは目的語で、単独名詞（代名詞を含む）、名詞句、述語句、数量詞（時量詞/動量詞）などを含む。一般的に“了”には文の動詞の直後に現れる場合と文末に現れる場合があると言われる。前者は、動作や行為の実現・完了を表すアスペクト助詞である。アスペクト助詞“了”を伴い、さらに目的語と共起している動目フレーズを、本稿では“V了O”で示す。後者は新しい事態の発生や変化を表す語気助詞である。語気助詞“了”を伴い、さらに目的語と共起している動目フレーズを、本稿では“V(O)了”で示す。なお、文末に位置する“V了”における“了”については、文のタイプによって、アスペクト助詞と語気助詞の両方を兼ねていると分析できる場合もあれば、語気助詞のみであると分析すべき場合もある。いずれの場合でも語気助詞は必ず関わっているので、本稿ではこのような“了”を語気助詞であると統一的に扱い分析を進める。
- 2 屈 (1998) により再引用
- 3 “风中狂沙”はチームの名前である。
- 4 《奋斗》発表：2007年、製作：北京鑫宝源影视投資株式会社、掲載 URL: <https://baike.baidu.com/item/奋斗/9000941>
《裸婚》発表：2011年、製作：北京光彩世紀文化芸術株式会社、掲載 URL: <https://baike.baidu.com/item/裸婚时代/6036937>
《咱们结婚吧》発表：2013年、製作：北京华录百纳影视株式会社、掲載 URL: <https://baike.baidu.com/item/咱们结婚吧/66672>
《离婚律师》発表：2014年、製作：上海耀客文化株式会社、掲載 URL: <https://baike.baidu.com/item/离婚律师/12007840>
《欢乐颂》発表：2016年、製作：东阳正午阳光影视株式会社、掲載 URL: <https://baike.baidu.com/item/欢乐颂/16954232>
- 5 作品集《呐喊》における《狂人日记》《孔乙己》《药》《明天》《端午节》《故乡》を利用した。
- 6 語気助詞“了”(le)と“啊”(a)の結合音である語気助詞“啦”(『現代漢語詞典(第七版)』)も、語気助詞“了”と意味機能が似ており、本稿では“啦”も語気助詞“了”として扱う。
- 7 日常会話では、話し手はある主題をめぐり、“V(O)了”を用い、聞き手に何らかの働きをかけた際、聞き手はそれに対して反応する場合もあり、反応しない場合もある。反応してくれない場合、話し手は聞き手とのコミュニケーションが成立しないと判断し、更に“V(O)了”を用い、他の話題を言い出すのが少ないからではないかと考える。